

J



■使用説明書

OLYMPUS OM10

オリンパスOM10をお買い上げくださいます、ありがとうございます。OM10は、カンタンな操作で正確な写真が写せるよう、電子化と自動化を大きく進めた高級一眼レフカメラです。交換レンズ群をはじめ、ワインダー、ストロボなど、装着ユニットも

充実しています。撮影の楽しみを、一步一步広げていけるオリンパスOM10。どうぞ、末永くご愛用いただきますよう、お願いいたします。ご使用前に、まずこの使用説明書をよくお読みになり、正しく美しい写真をおとりください。

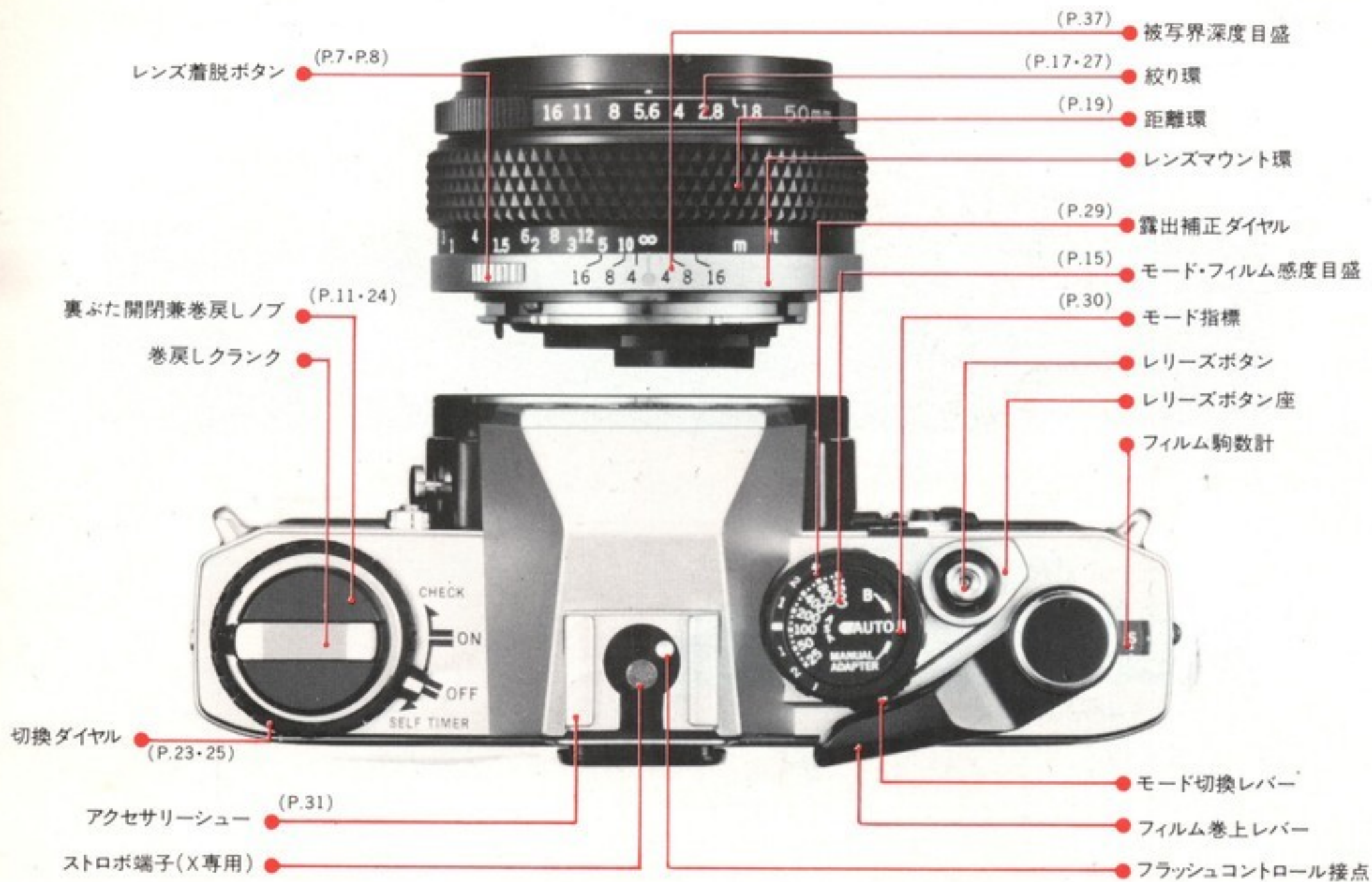


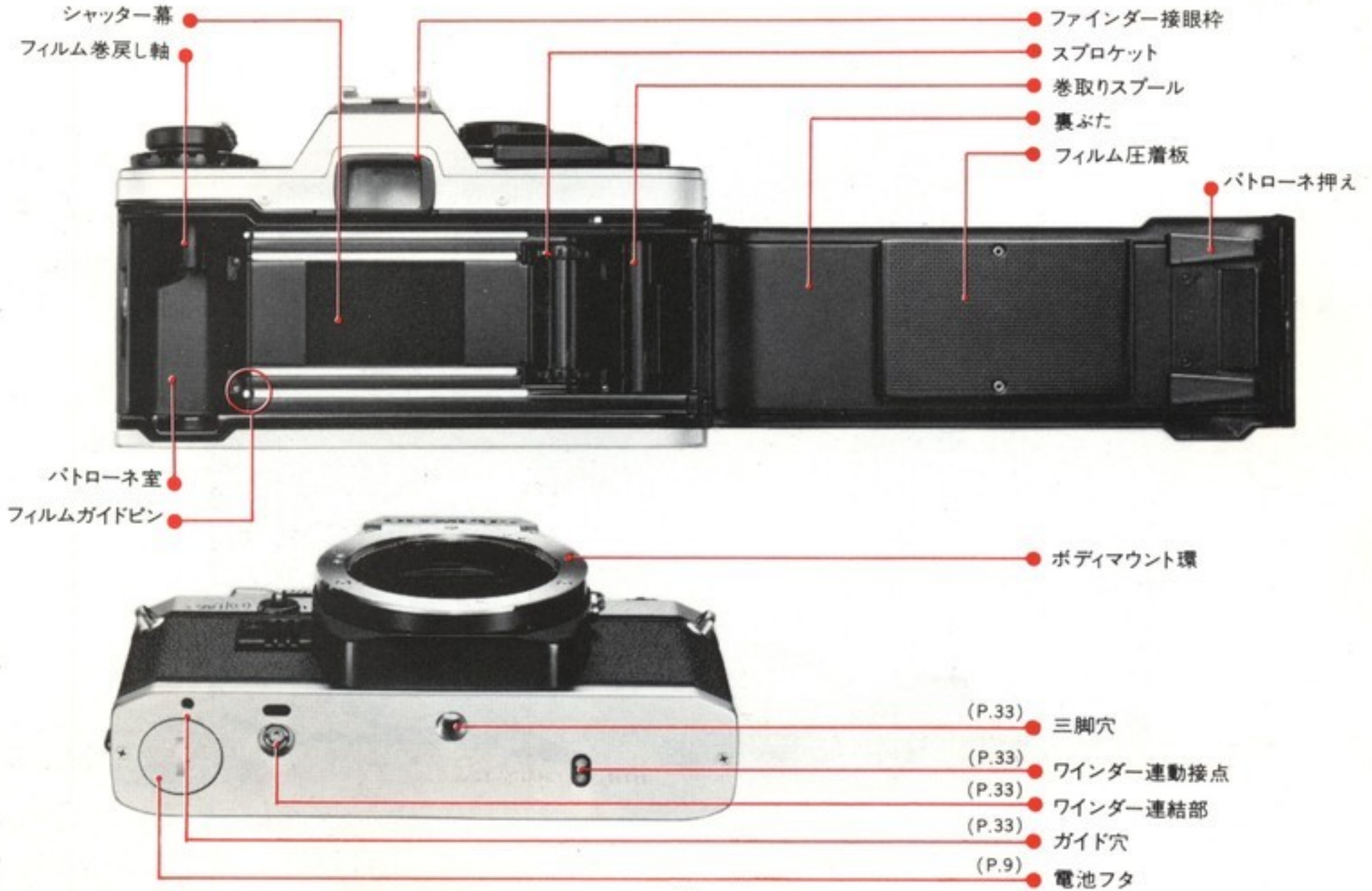
目次

- 各部の名称…………… 3
- 撮影準備をしましょう…………… 6～15
 - レンズの取り付け方…………… 7
 - 電池の入れ方…………… 9
 - 電池のチェックの方法…………… 10
 - フィルムに入れ方…………… 11
 - フィルム感度のあわせ方…………… 15
- オート撮影編…………… 16～25
 - 絞りの決め方…………… 17
 - オートでの写し方…………… 19
 - OM10だけのユニークな節電設計…………… 22
- 電源の切り方…………… 23
- フィルムの巻きもどし方…………… 23
- フィルムの取り出し方…………… 24
- セルフタイマーの使い方…………… 25
- テクニック撮影編…………… 26～40
 - 露出コントロールの方法…………… 27
 - シャッタースピード優先の写し方…………… 28
 - 露出を補正しての写し方…………… 29
 - 長時間露光撮影の方法…………… 30
 - ストロボ撮影の方法…………… 31
 - ワインダー撮影の方法…………… 33
- 標準撮影から広角・望遠撮影へ…………… 35
- 被写界深度のいかし方…………… 37
- マニュアル撮影の方法…………… 39
- ズイコー交換レンズ群一覧表…………… 41
- 保管上の注意と使用上の注意…………… 43
- こんなときは、こうしましょう…………… 45
- おもな仕様…………… 47
- 保証書の発行、アフターサービスについて…………… 49
- カメラクラブ・システム読本のご案内…………… 50

知っておきたい各部の名称 説明写真は標準F1.8レンズです。







写す準備をしましょう。

OM10は

電池で働く電子制御式一眼レフカメラですから
電池を入れないとシャッターは切れません。

この章では

写真を写す前に準備しておくことをまとめました。
これだけのことは、忘れずにやっておきましょう。

レンズの取り付け取りはずしは、こうしてやりましょう。



①ボディキャップとレンズのバックキャップをはずします。



②レンズキャップをはずします。

※レンズ付でお求めになった方は、レンズのバックキャップとボディキャップはついていません。

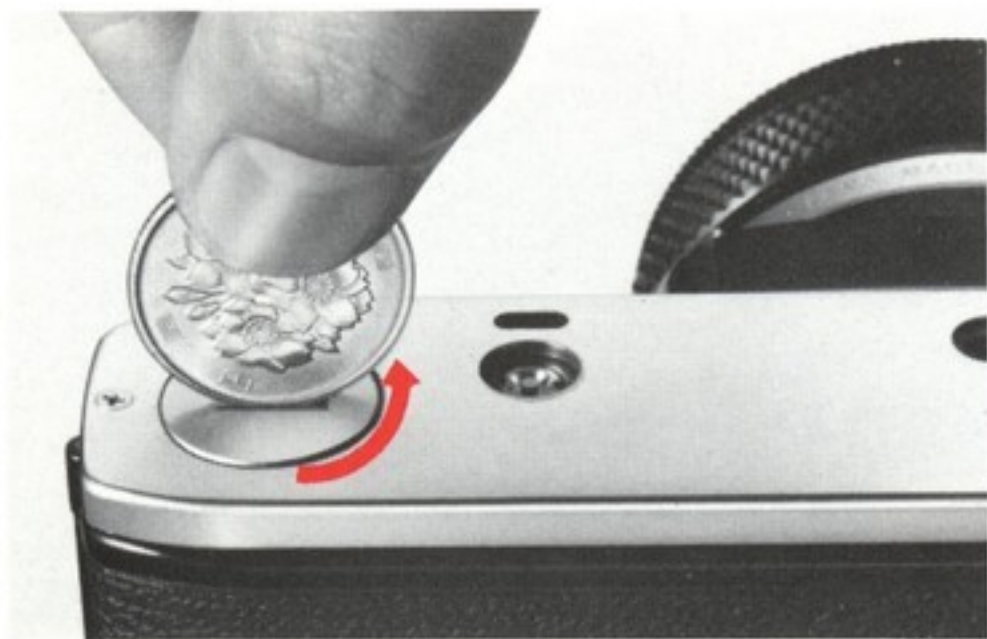


③レンズを取りつけます。



④レンズを取りはずします。

電池を入れましょう。

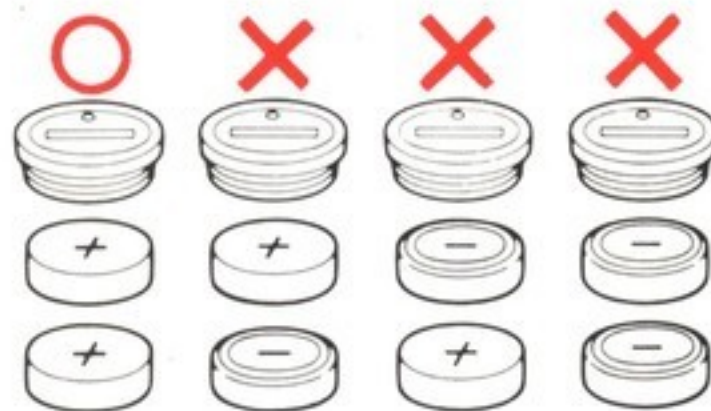


①ふたをはずします。



②LR44(A76)アルカリ電池を入れます。

③ふたをしめます。

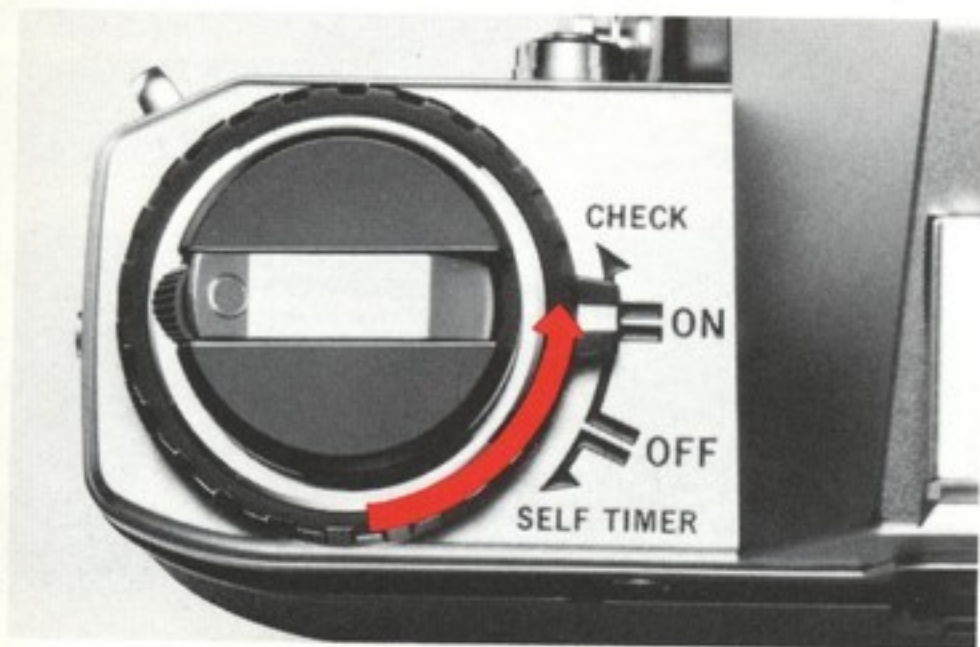


(参考)

SR44(G-13)銀電池も使えます。

電池のチェックをしましょう。

OLYMPUS
cm10



①CHECK (チェック) にまわします。



②音と光がでます。

③確認後元に戻します。

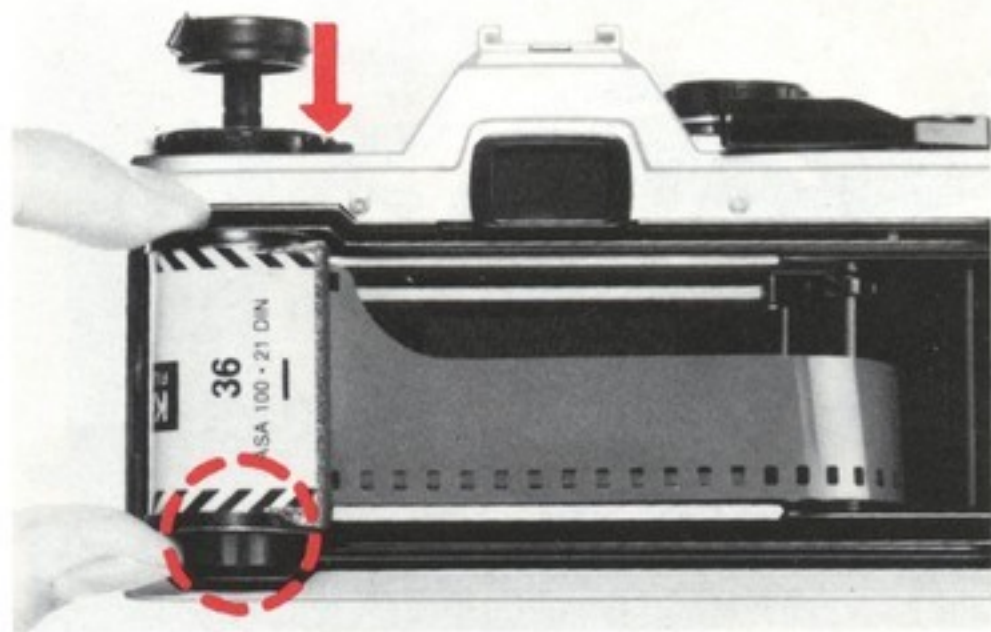
(ご注意)

音と光がでないときは、電池の入れかたをまちがっているか電池がなくなっているかですから、とりかえるか、入れ直しましょう。

フィルムを入れましょう。



① 裏ぶたをあけます。

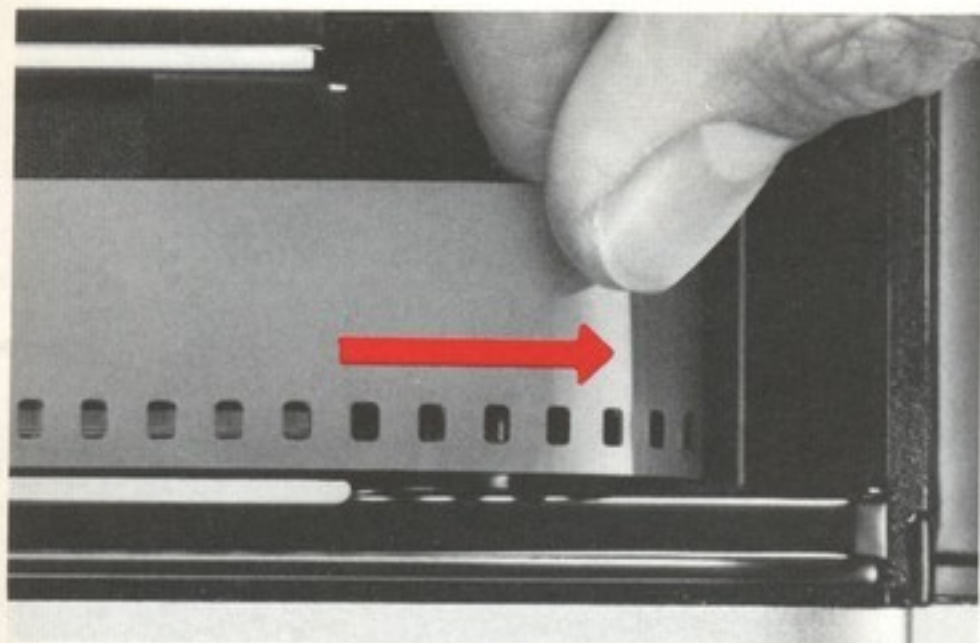


① フィルムを入れます。

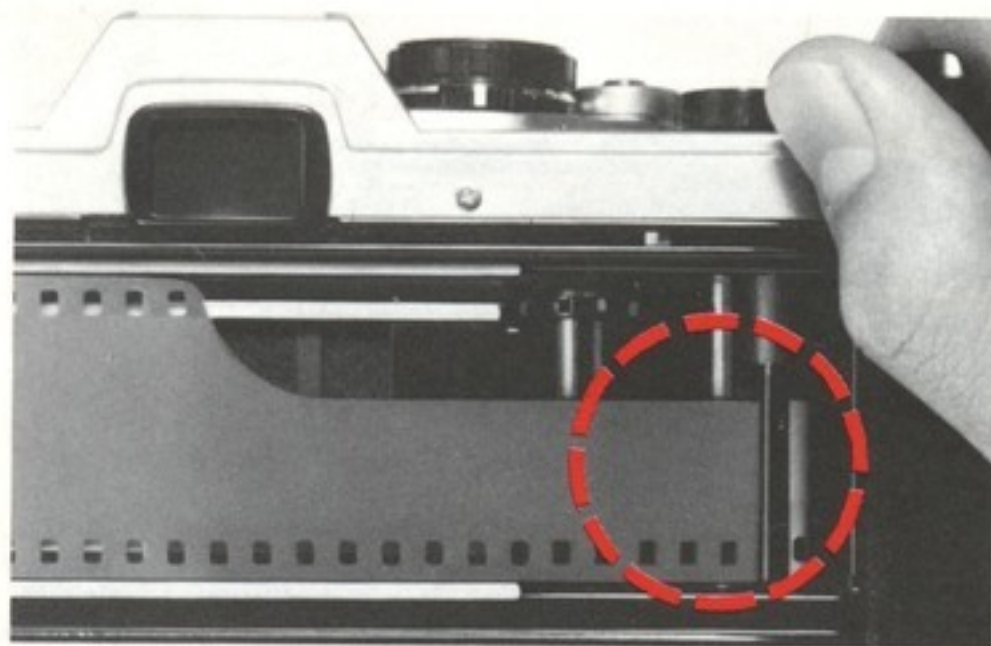


(フィルムの出し入れは
直射日光をさけて日陰
でおこなしましょう。)

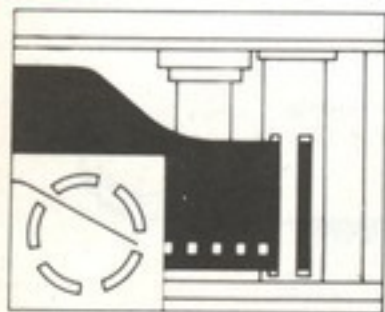




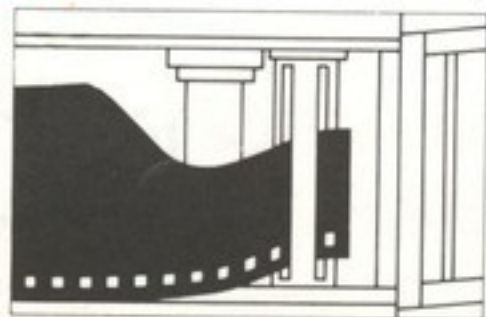
③ フィルムの先をさしこみます。



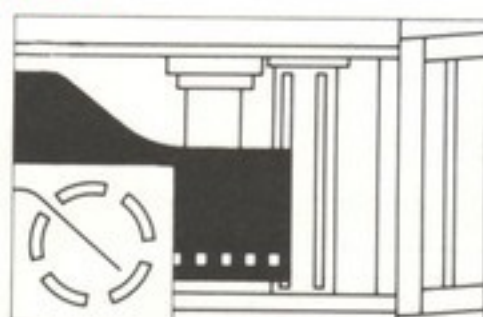
④ フィルムの先は出しすぎないように入れましょう。



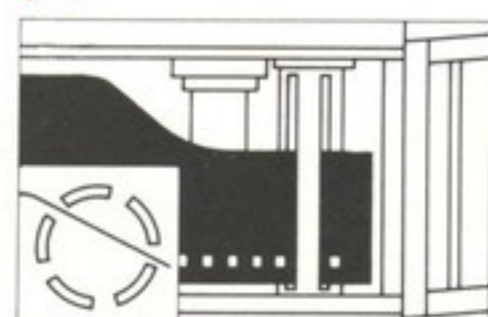
(フィルムの先端が曲がって入っています。)

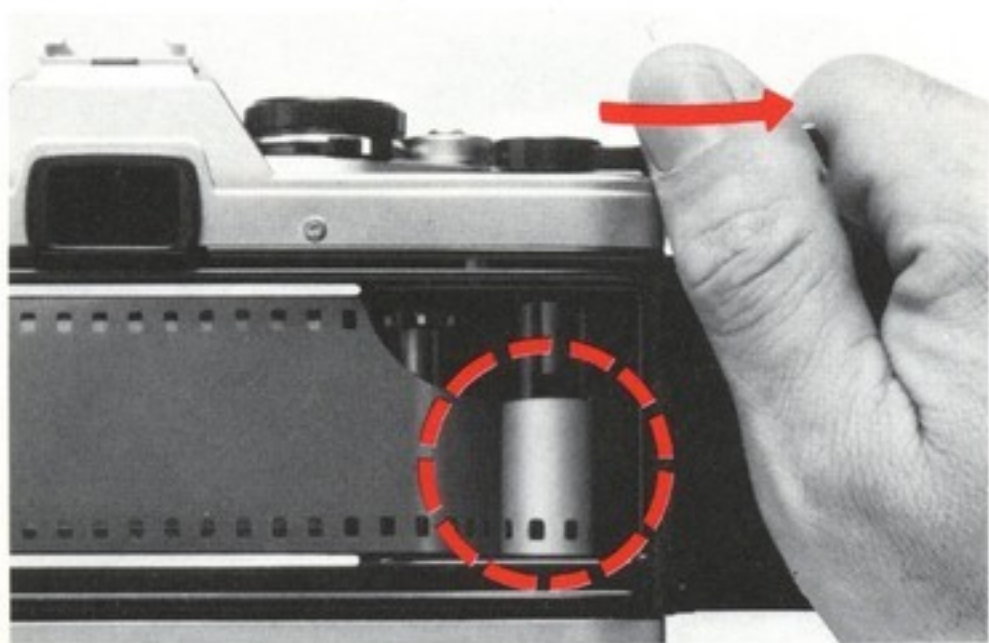


(フィルムの先端が完全に入っていません。)

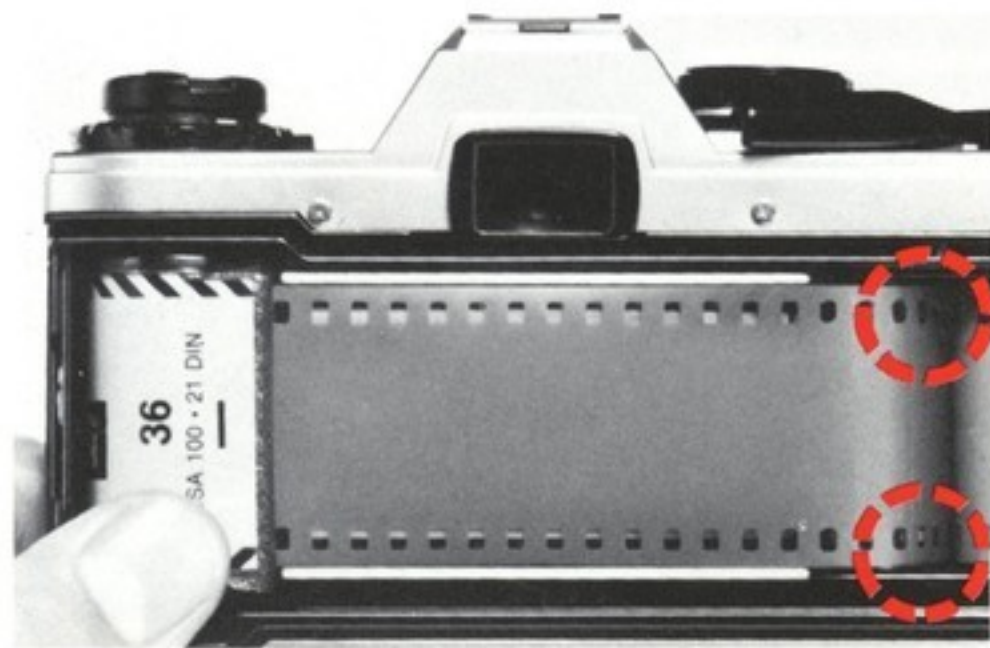


(フィルムの先端が出すぎです。)

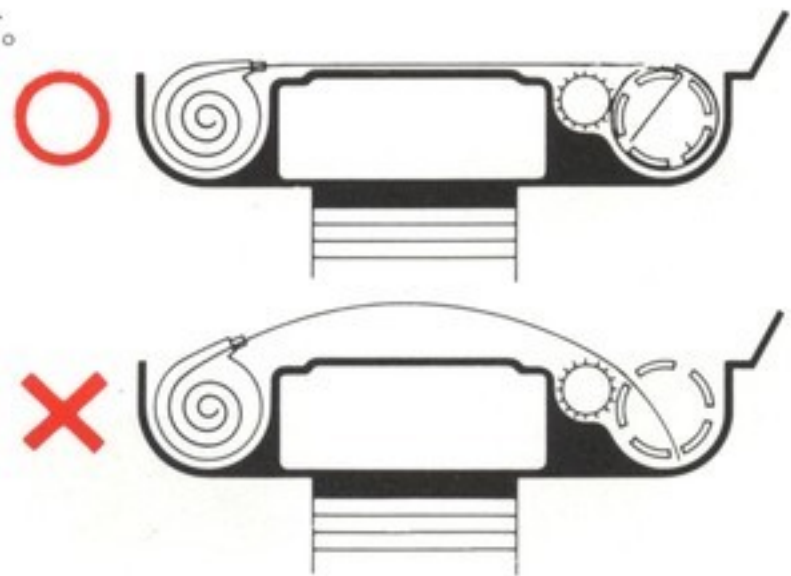




⑤フィルムがひと巻きされるまで巻上げます。

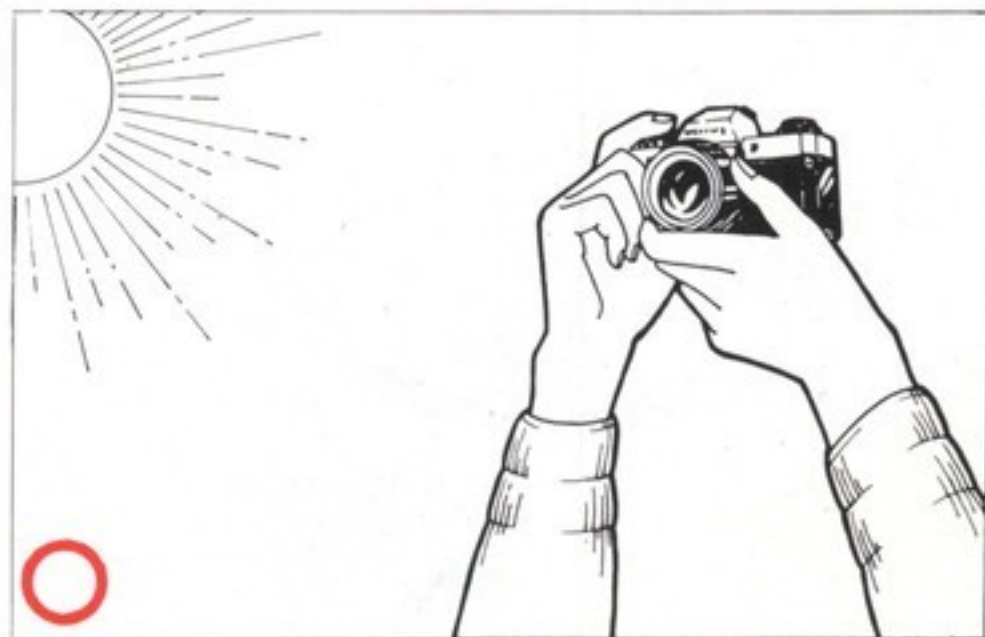
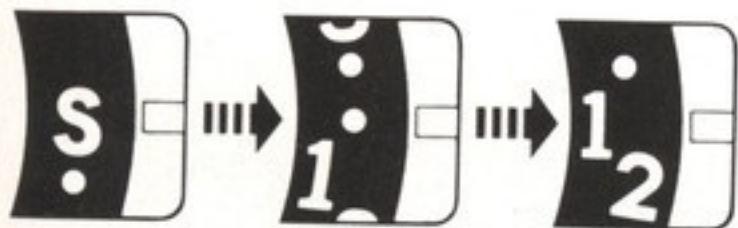


⑥フィルムの穴をかみあわせ、たるみをとって、裏ぶたとじます。

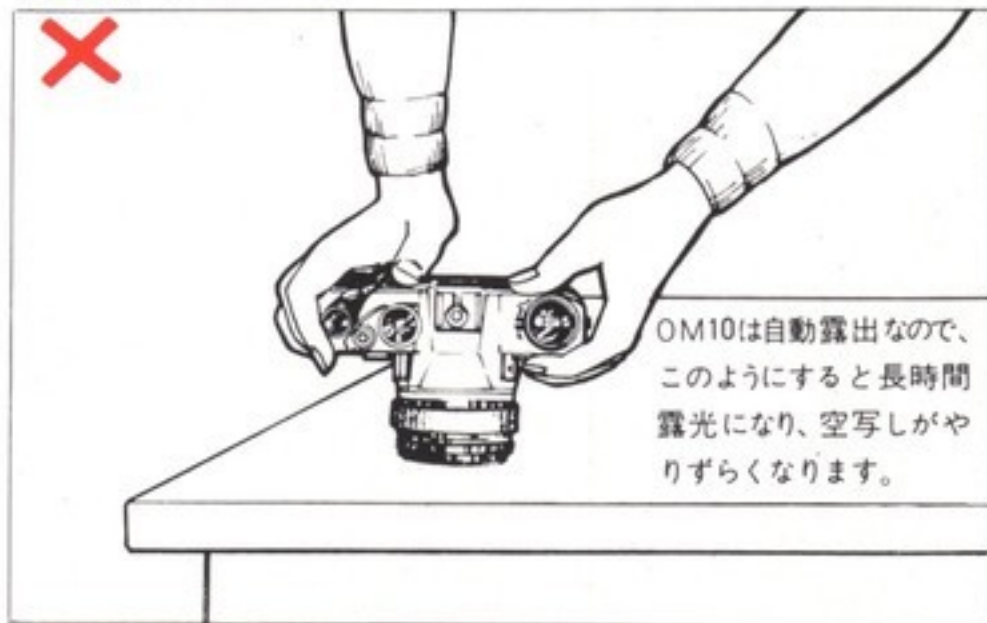




⑦ 駒数計が「1」になるまで、から写しをします。



(から写しのしかた)



OM10は自動露出なので、
このようにすると長時間
露光になり、空写しがや
りずらくなります。

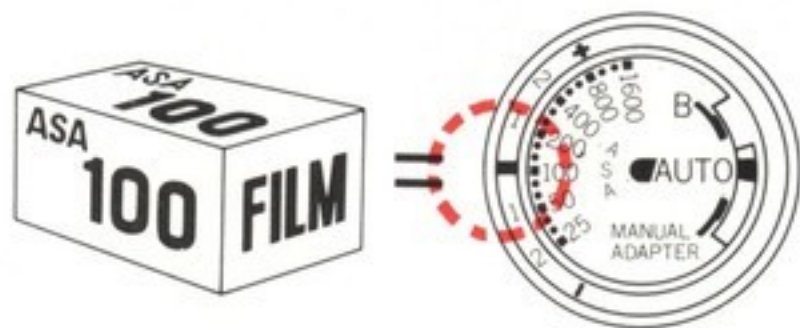
フィルム感度をセットしましょう。



①ASA (アサ) 感度をあわせます。



②ASA (アサ) 感度が100に合ったとき。



カンタンに、正しく写しましょう。

OM10は

めんどろなことは、すべてカメラが行う電子自動露出の一眼レフカメラです。
ですから

AUTO にセットしておけばだれでもカンタンに
正確で美しい写真が写せます。

絞りを決めましょう。



①絞りをあわせませす。

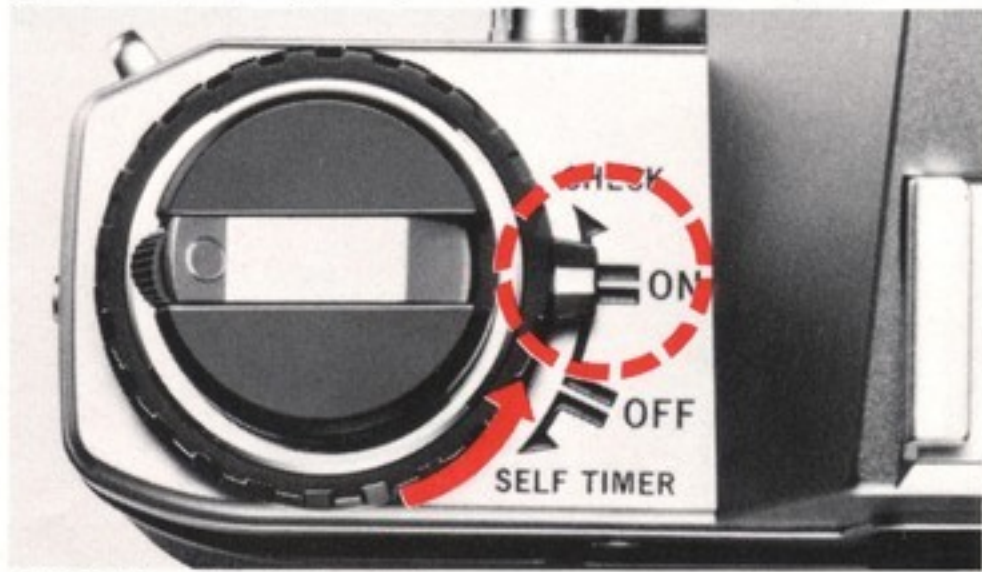
絞りのめやす

天候			
絞り値 (F)	16	8	4

絞りをフルに利用して撮影したい方はP27参照



②AUTO (オート) にあっていることをたしかめます。

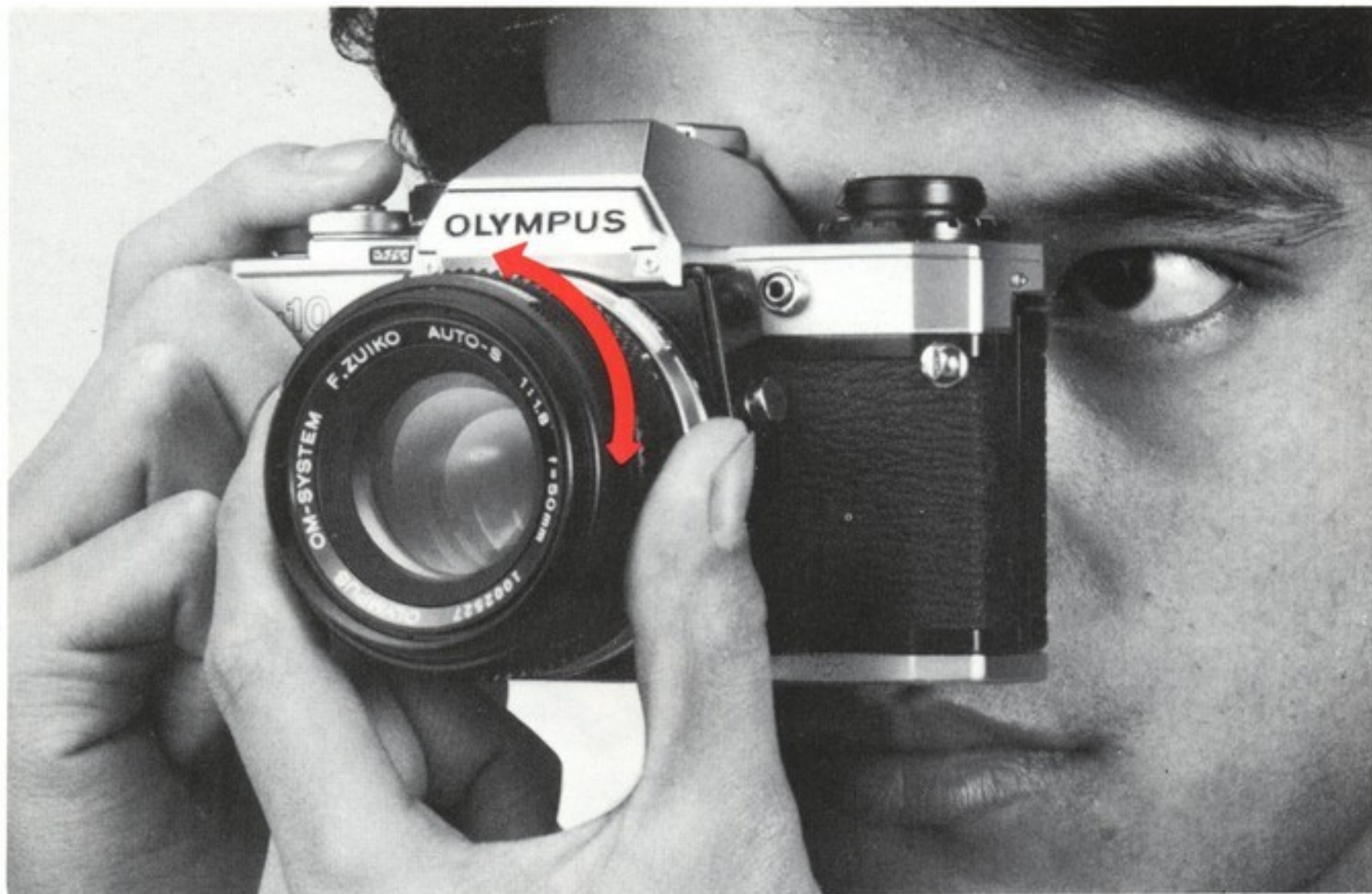


③ON (オン) にあわせませす。

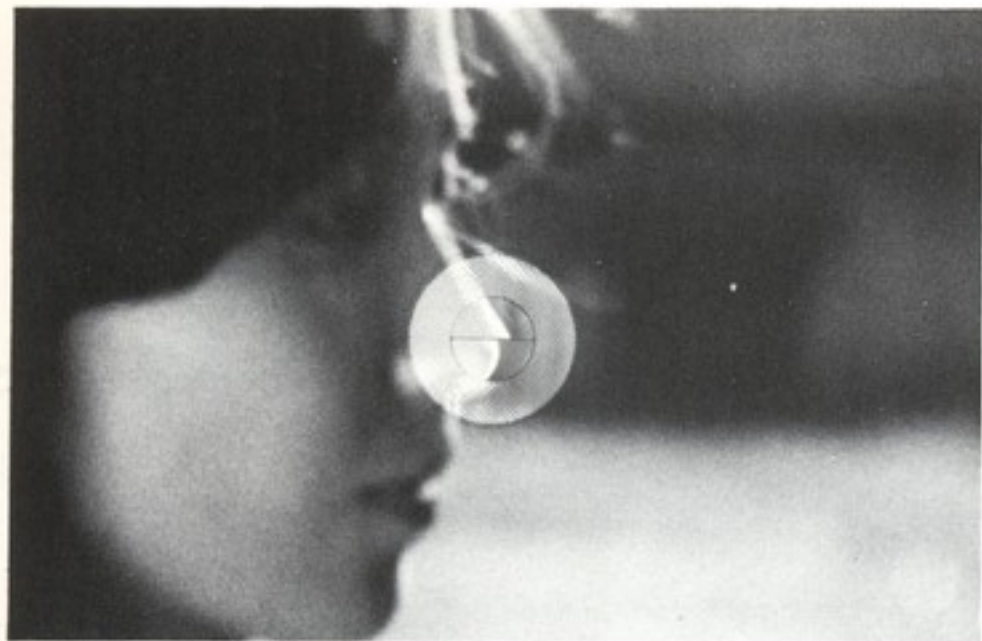


④適正な露出にあったシャッタースピードのところに、光がつきます。

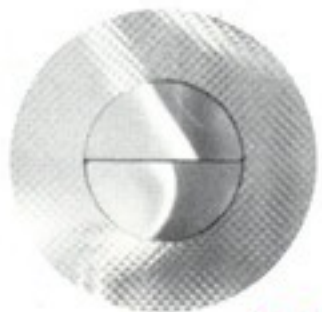
さあ、写しましょう。



⑤ ピントをあわせます。



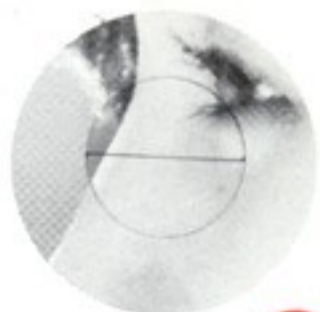
⑥ ピントがありません。



×



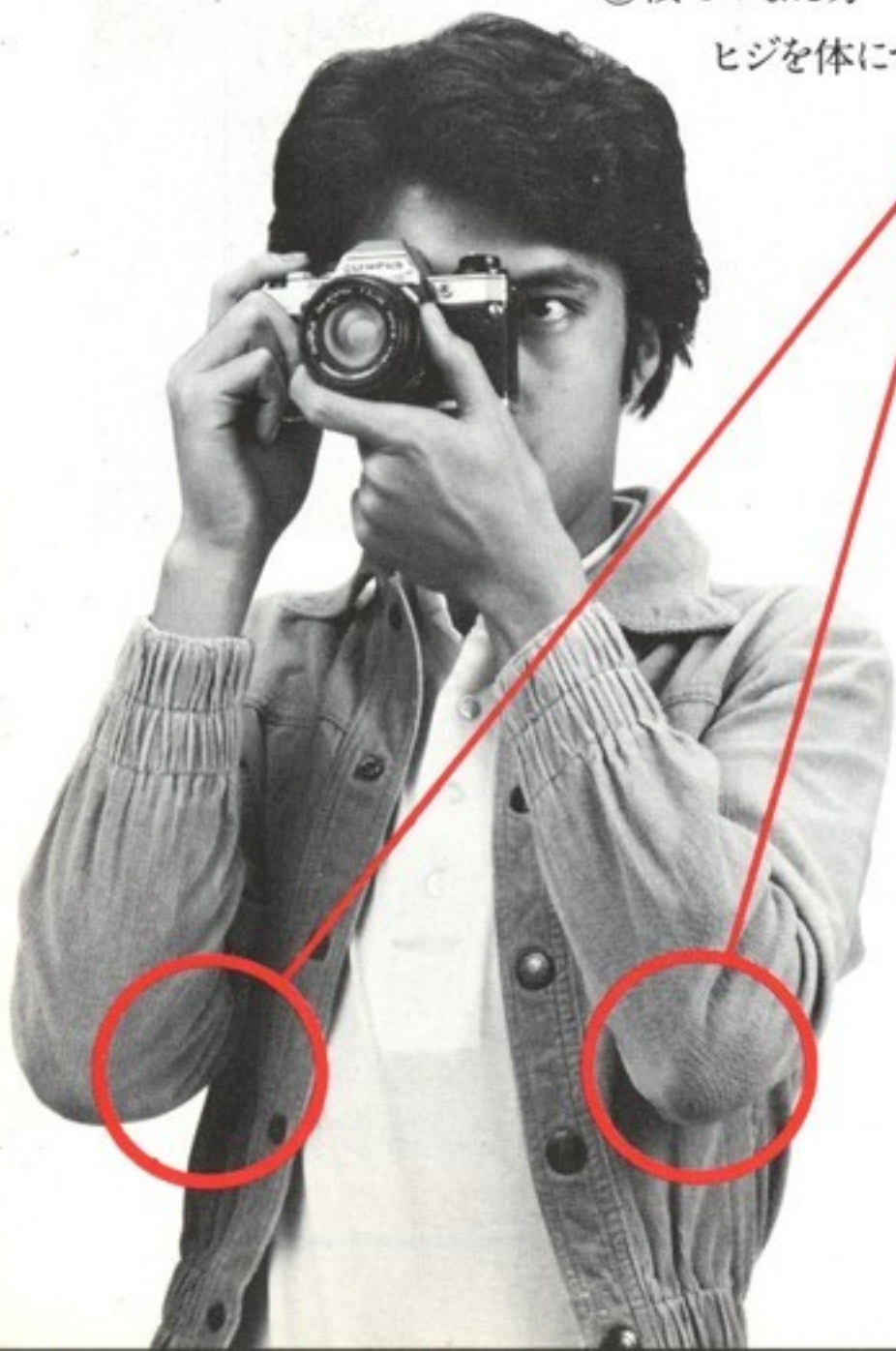
⑦ ピントがあります。



○

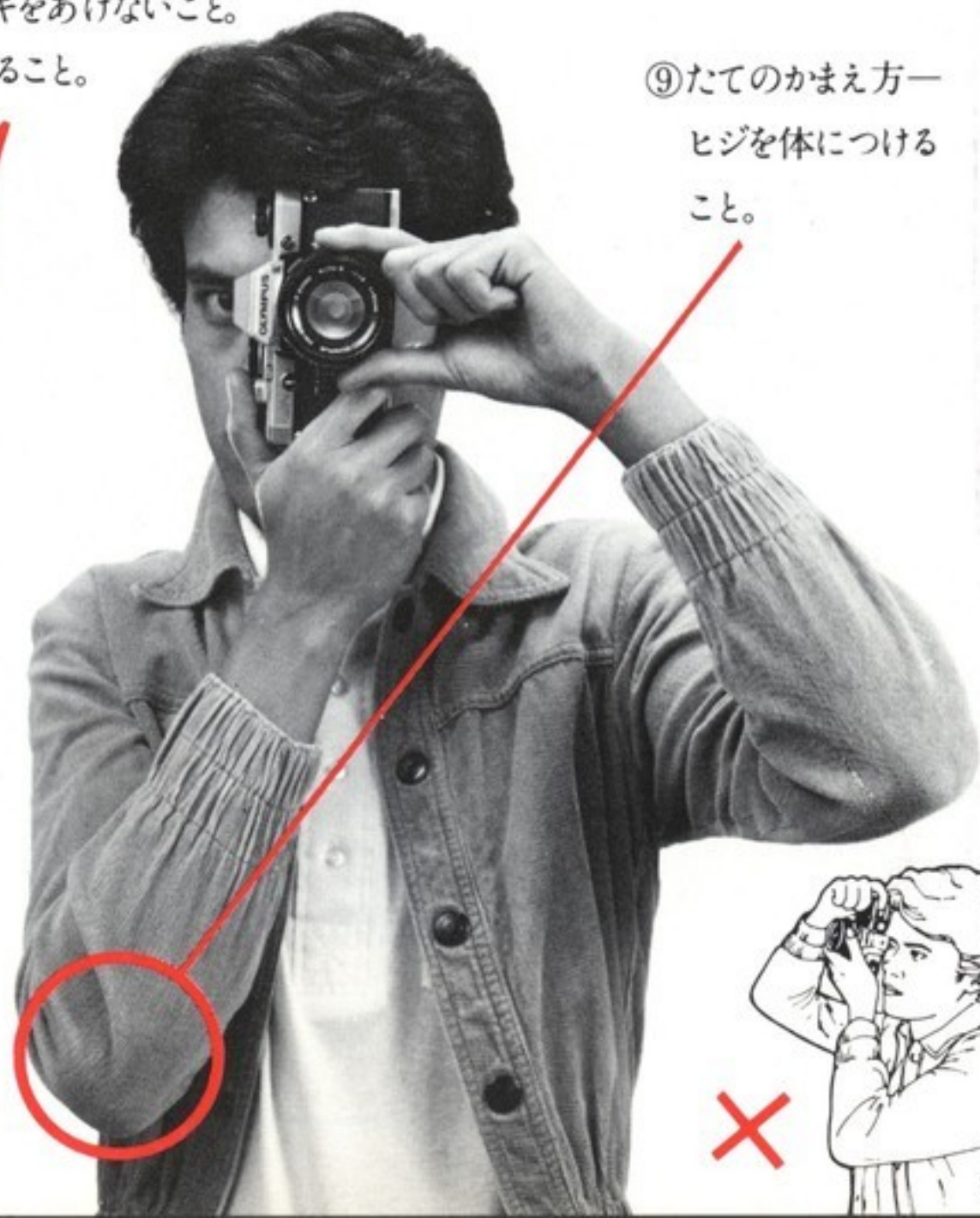
⑧横のかまえ方—ワキをあけないこと。

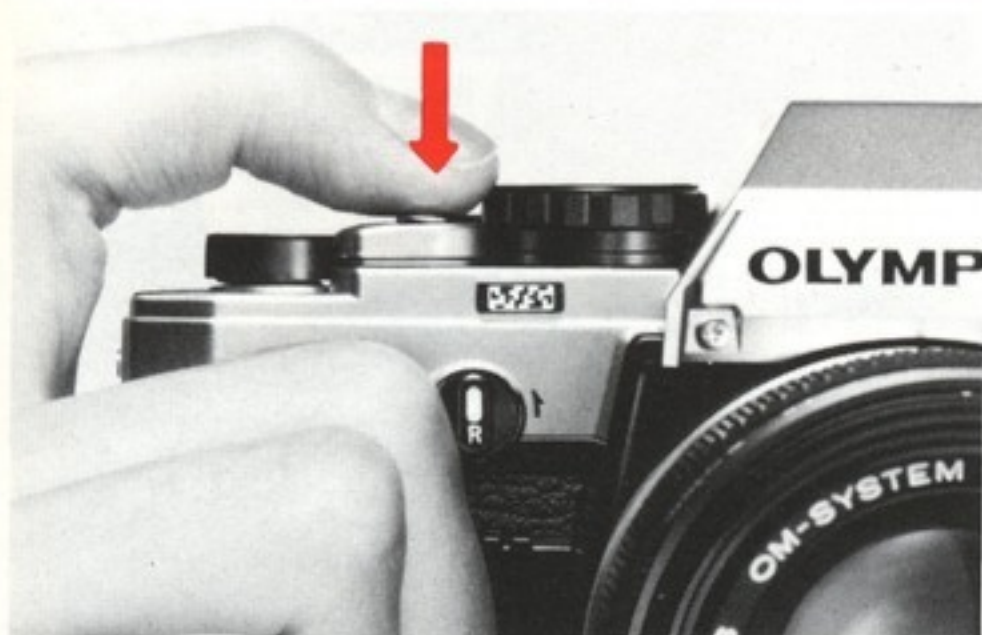
ヒジを体につけること。



⑨たてのかまえ方—

ヒジを体につける
こと。





⑩レリーズボタンを静かにおします。

〈“ON”にすると…〉

電池から電流が流れファインダー内のシャッタースピードに光が付きまします。しかし、レリーズボタンから手を離し約90秒すぎると光は自動的に消えます。これは電池の消耗を防ぐ節電設計になっているからです。

〈レリーズボタン座にふれると…〉

消えた光は、レリーズボタン座に軽くふれると再び90秒間光が付き、いつでもシャッタースピードをたしかめることができます。



〈OFFにすると…〉

すべての電流は切れ、光もつきません。しかし、とっさのときONにするのを忘れてシャッターを切ったときはシャッターの開いている間だけ電流が流れ、適正露光の写真が写せます。そして、撮影終了と同時に再びすべての回路が切れる安全節電設計です。

電源を切りましょう。



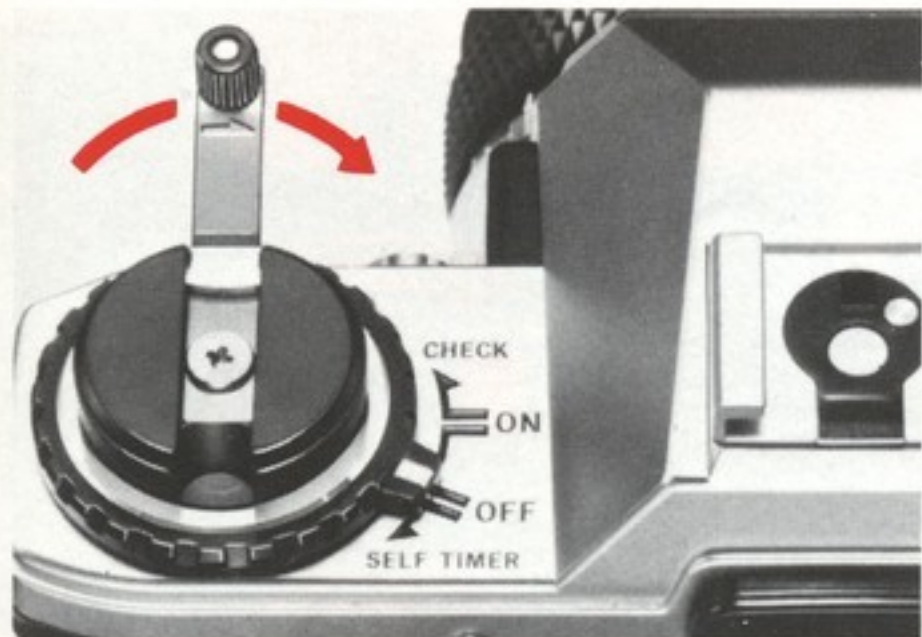
①1日のさつえいがおわったらOFF(オフ)にしましょう。

フィルムを巻きもどしましょう。

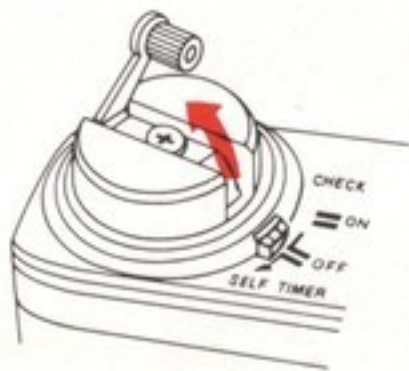


①フィルムを全部写し終ったら、巻きもどしクラッチをまわします。

フィルムを取りだしましょう。

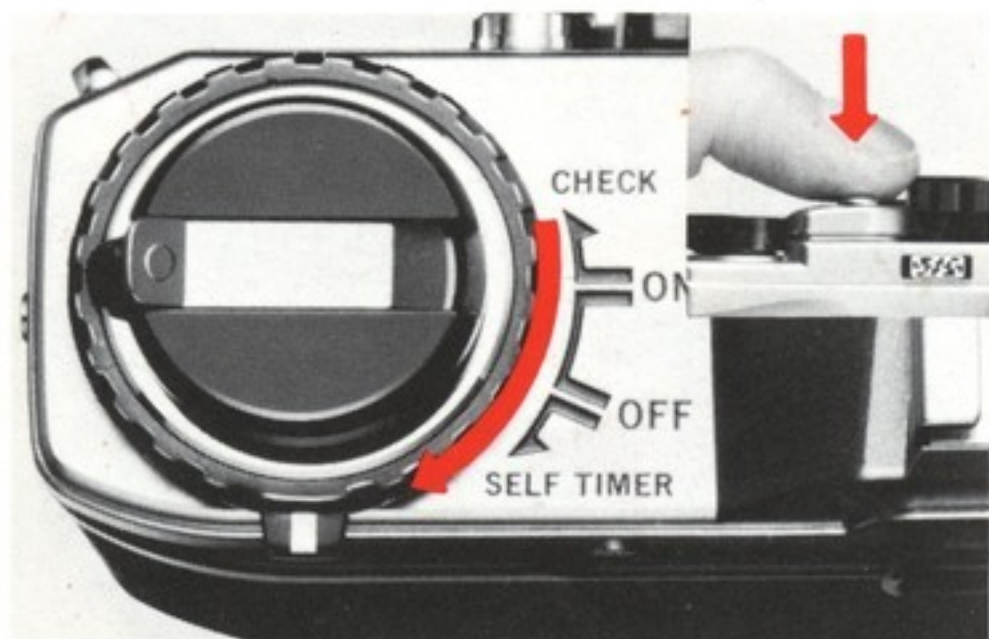


②軽くなるまで巻きつづけます。



①裏ぶたをあけ、
フィルムを取り
だします。

セルフタイマーはこうして使いましょう。



- ①SELF TIMER (セルフタイマー)にセットします。(矢印の方向で停止する位置)
- ②シャッターボタンをおします。



- ③音と光がでて、約12秒後にシャッターが切れます。
- ④ダイヤルをもとの位置にもどします。

テクニックを楽しみましょう。

「OM 10」はいろいろな機能を持っていると同時に
数々のレンズやストロボ、ワインダーなど
豊富なシステムを使うことができます。
オート撮影をマスターされた方は
この章を参考に
ハイテクニックをお楽しみください。

露出をコントロールして適正な写真を写すテクニック。



17頁のめやすに絞りをセットしていても特に明るすぎたり、暗すぎたりしたときは、露出がオーバーになったり手ブレの心配が出てきます。絞り環をフルに使うテクニックを覚えましょう。

① シャッター秒時の光が赤ゾーンに入ったときは露出オーバーになります。絞り環を大きい数値(F16方向)にまわします。

② シャッター秒時の光が「30」($\frac{1}{30}$ 秒)より下についた時はブレやすくなります。こんなときは三脚を使うか、絞り環を小さい数値(F1.8方向)にまわします。

③ 光が「1」(1秒)の所を示しているときは、シャッタースピードが1秒かそれ以下の時です。①と反対の操作をします。



動きの速い被写体を写す時は、被写体がブレやすくなります。これを止まったように写すのもテクニックですし、わざとブレさせて躍動感を出すのもテクニックです。シャッタースピードを優先的にいかして、こんな写真にチャレンジしてみましょう。ファインダー内に表示される光が、狙いのシャッタースピードになるまで絞り環をまわし、シャッターを切ります。

露出補正ダイヤルを使って、明暗を補正するテクニック。



太陽や窓を背にした撮影では、被写体の顔は暗く写ります。こんなときは、補正ダイヤルで露出を補正すれば、適正な写真が撮れます。

- ①補正ダイヤルを引きあげASA感度目盛に(+)あるいは(-)を合わせます。これを利用してハイキー、ローキーの写真を作ることができます。ただし、ASA1600のとき(-)補正が、ASA25のときは(+)の補正はできません。
- ②撮影後は必ず元に戻しましょう。
- ③(+)側(-)側共に2段階補正ができます。

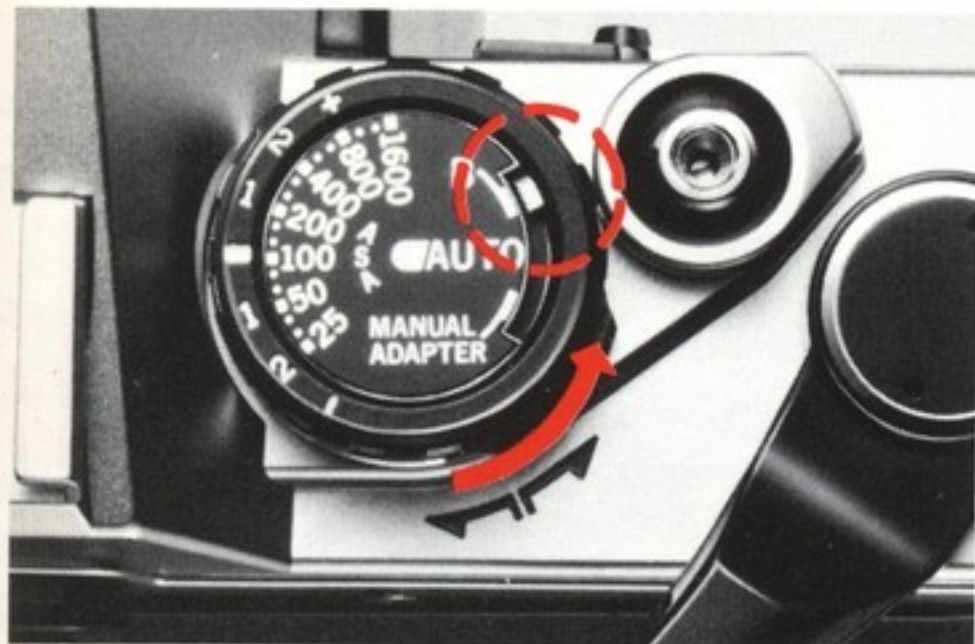


補正前



(たとえば、ASA100、(+)2段階補正の場合)

(+)2段階補正



シャッタースピード2秒

夜景などでシャッタースピードが長時間になるときは、ブレやすくなりますから三脚とケーブルリリースを使い、B (バルブ) で撮影してください。

- ①B (バルブ) にあわせ、シャッターを押します。
- ②撮影後は必ずAUTOに戻しましょう。
- ③ただし、2秒(ASA100の時)までの長時間露出撮影はAUTOで撮影できます。



シャッタースピード8秒

この作例写真は、マルチクロスフィルターを使っています。



エレクトロニック
フラッシュT32



エレクトロニック
フラッシュT20

〈T32と「T20」を使ってのストロボ撮影の特徴〉

- ①アクセサリシューに「T32」「T20」を取りつけ、ストロボ側の電源をオンにすればストロボオート、オフにすればカメラのAE撮影にワンタッチで切りかわります。
- ②「T32」と「T20」の電源スイッチをオンにすると、シャッタースピードは自動的に $\frac{1}{60}$ 秒になりますが同時に適正秒時のシャッタースピードにも光が点灯しますので参考にしてください。
(ご注意)
 - ①T32、T20以外のストロボを使うとき、レバーを(MANUAL ADAPTER)にセットします。AUTOのままですと明るさに応じたシャッターになり、同調しないことがあります。
 - ②このとき、充電完了、適正発光のサインはファインダー内に表示されません。
 - ③マニュアルアダプターを取りつけたままストロボをお使いになるときは、マニュアルアダプターの取扱い説明書をよくお読みください。
 - ④ストロボについては、ご購入のストロボ取扱い説明書をご参照ください。



⚡ 60

1000

500

250

125

60

30

15

8

4

2

1

ワインダーを使って、速写・連写のテクニック。

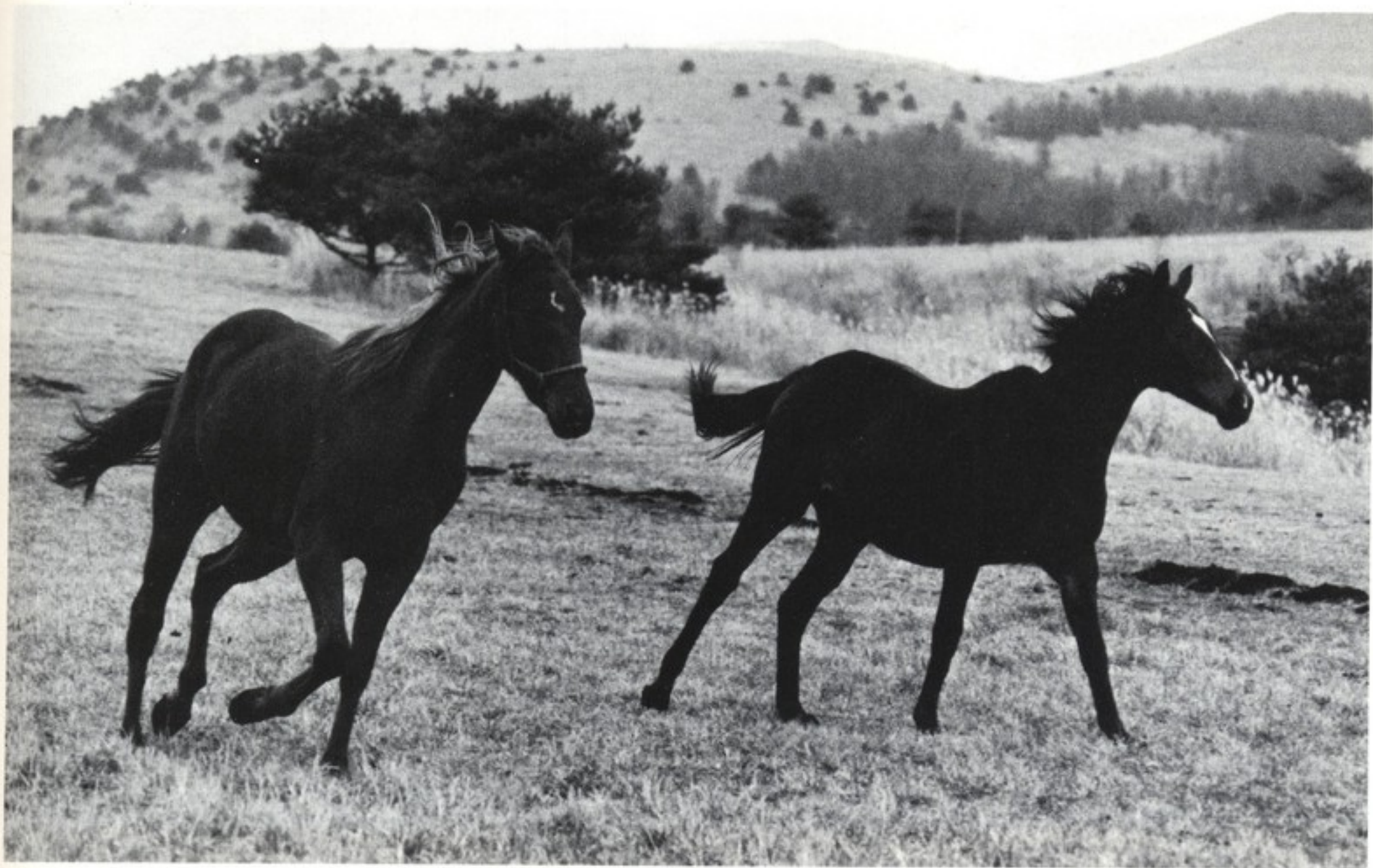


(OM10はモータードライブの装着はできません)

スポーツやレースなど動きの速い被写体を狙うとか、シャッターチャンスが続けざまに来るような時、手巻きではシャッターチャンスを逃してしまうことがあります。こんな時、威力を発揮するのがOMシステムワインダー2です。

OM10にはOMシステムの「ワインダー2」が利用できます。ワインダー2の装着はワンタッチで簡単。1コマ撮影も撮影後、瞬時に巻上げが行なわれる独自の機構を採用。突然のシャッターチャンスも逃しません。連続撮影では秒2.5コマとモータードライブ並みの速さで、人間の限界を越える世界を必撮するプロテクニックを楽しめます。

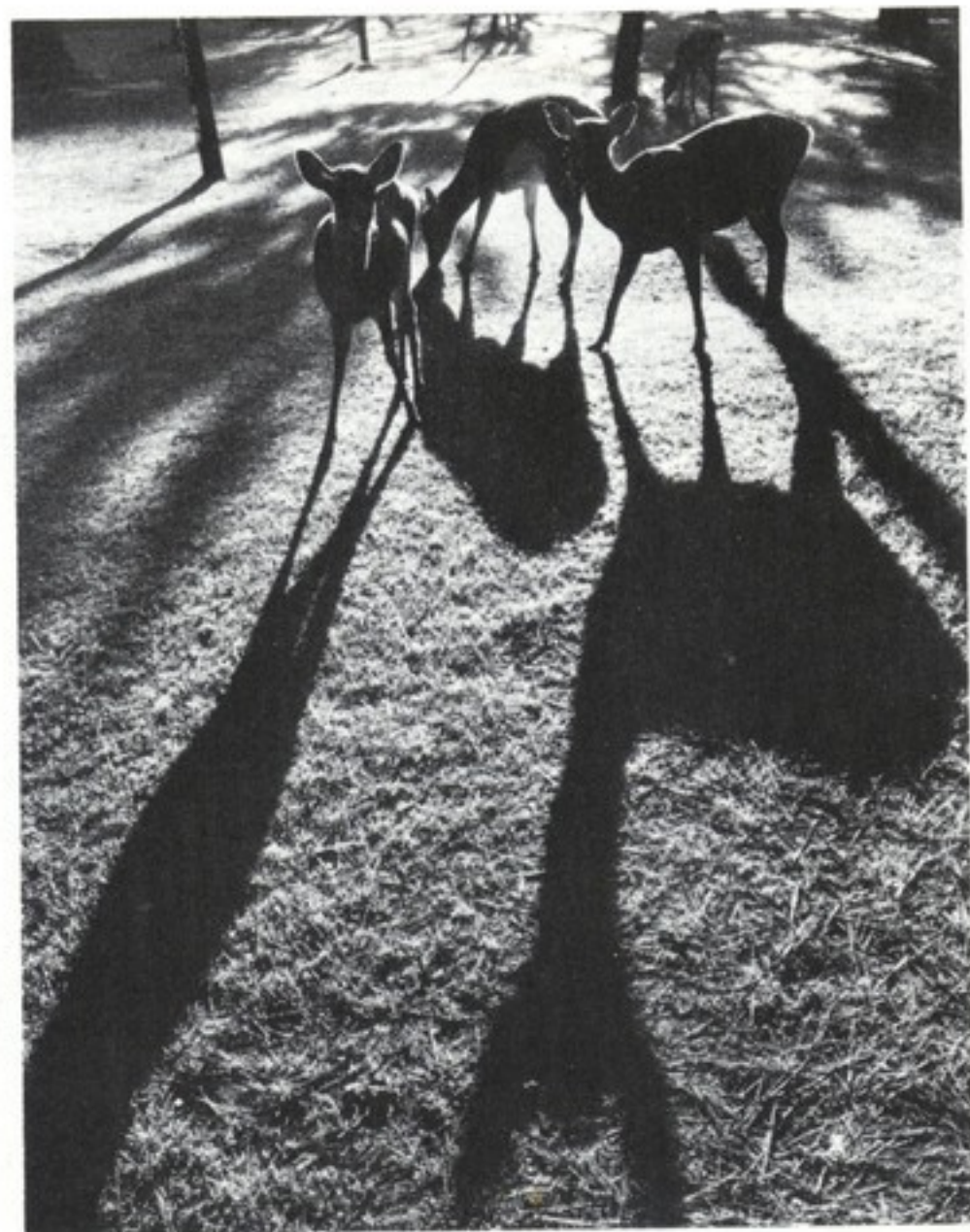




レンズを交換して、映像再発見のテクニック。



ひとつのボディに何本ものレンズをつけかえて、いろいろな映像をキャッチできるのが一眼レフカメラの特徴です。標準レンズでの撮影から、バックをボカしムーディなボケ味を表現する望遠レンズ撮影へ、また遠近感を強調し奥行き深くシャープな写真がとれる広角レンズ撮影へ……。OM10で出会える映像の世界は、広く深く広がっています。シャープな解像力と豊富なレンズ群を誇るオリンパス・ズイコー交換レンズで、新しい映像の世界を発見してください。



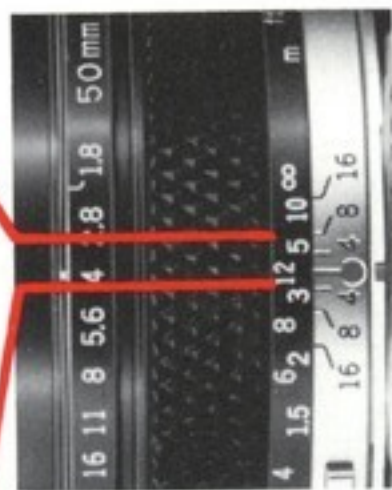
広角28ミリ撮影



望遠200ミリ撮影

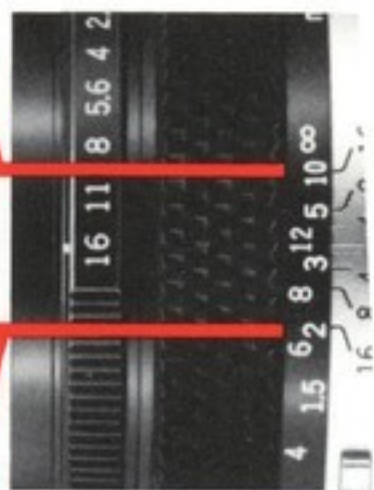
被写界深度をいかして、背景演出のテクニック。

被写体にピントを合わせた時、前後の、ある範囲までクッキリ写ります。この鮮明に写る範囲を被写界深度といいます。被写界深度は、絞り数値を大きくするほど鮮明に写る範囲が広くなり、背景がシャープな写真となります。また、絞り数値を小さくするほど鮮明に写る範囲が狭くなり、背景が淡くボケた写真になります。こんな被写界深度の性格を上手にいかして、味のある写真をとってください。



F4

〈被写界深度の見方〉



- ①写真は約4mの被写体にピントを合わせています。
- ②この場合、絞りを16にすれば鮮明に写る範囲は約2mから約10mまでです。
- ③絞りを4にすれば、鮮明に写る範囲は約3mから約4.5mまでです。

F16

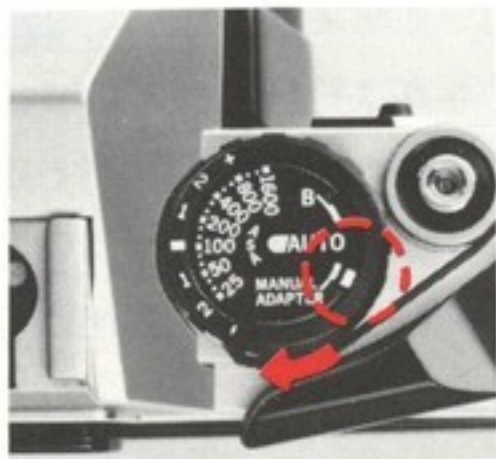


- ファインダー内でピントの合う範囲を確かめたい時はこのプレビューボタンを押すと見られます。

マニュアルアダプターを使って、露出コントロールのテクニック。

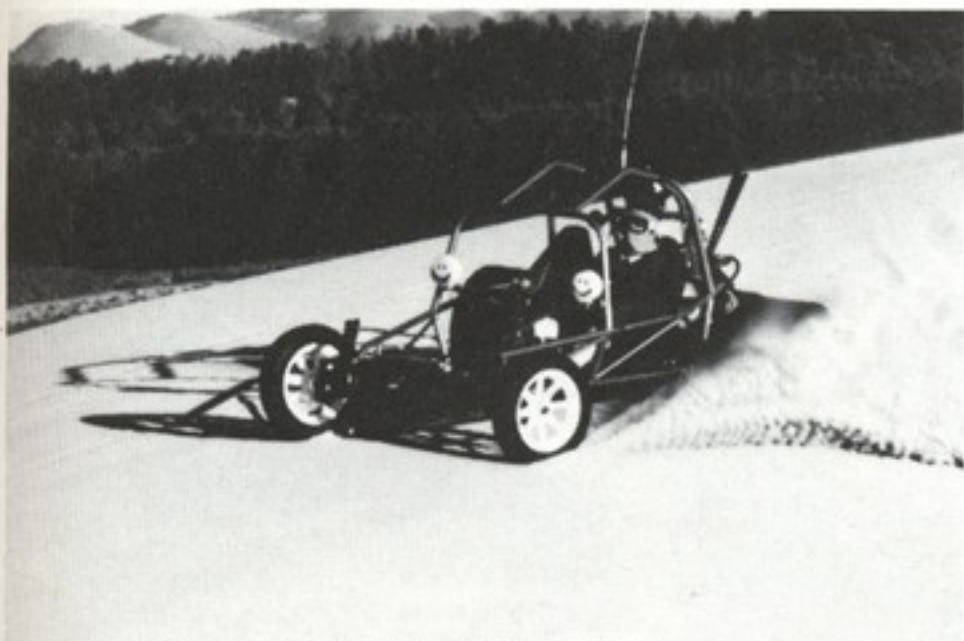
「OM10」は別売りのマニュアルアダプターをつけると、マニュアル撮影ができます。動きを止めたいとか被写界深度を考えて撮りたいとか、テクニックを生かしたいときに大変便利です。このときは、マニュアルアダプターをつけ、モードレバーはMANUAL ADAPTERにセットしてください。

(マニュアルアダプターは別売です。)



エレクトロニックフラッシュT32・T20とマニュアルアダプターを併用する時、モードレバーはAUTO、シャッタースピード目盛は1~30(水色表示)の範囲にセットしてください。この範囲内ならばいずれもストロボ同調秒時(約 $\frac{1}{60}$ 秒)で作動します。





シャッタースピードを優先して $\frac{1}{1000}$ 秒でとった写真

〈シャッタースピード優先の写し方〉

- ①必要なシャッタースピードをマニュアルアダプターにセットします。
- ②ファインダーをのぞき、シャッタースピードを表示する赤い光がセットしたシャッタースピードを指示するところにくるまで絞り環をまわして露出を合わせ写します。



ハイキーのテクニックを使った写真

〈絞り優先の写し方〉

- ①必要な絞りをセットします。
- ②ファインダーをのぞき、光が指示したシャッタースピードをマニュアルアダプターにセットして写します。
- ③そのまま絞りを、開けたり、閉じたりすることにより、ハイキーやローキーな写真をとることができます。

ズイコー交換レンズ群一覧表

●この一覧表は、80年8月現在のものです。仕様については、予告なしに変更する場合があります。挿入のOMシステム価格一覧表をご参照ください。

種類	交換レンズ	画角	レンズ構成	絞り形式 (絞り羽枚枚数)	最小絞り	最近接撮影距離	最近接撮影範囲 (長辺×短辺)	重量	全長	最大径	フィルター			
											49mm	55mm	72mm	100mm
魚眼	ズイコーフィッシュアイ 8mm F2.8	180°(円形像)	7群11枚	自動(6)	22	0.2 m		640g	82mm	102mm	内蔵(L39, Y48, O56, R60)			
	ズイコーフィッシュアイ 16mm F3.5	180°	8群11枚	自動(6)	22	0.2 m		180g	31mm	59mm	内蔵(L39, Y48, O56)			
超広角	ズイコーMC 18mm F3.5	100°	9群11枚	自動(6)	16	0.25 m ○	30cm×20cm	250g	42mm	62mm			○	
	ズイコーMC 21mm F 2	92°	9群11枚	自動(6)	16	0.2 m ○	21cm×14cm	250g	43.5mm	60mm			○	
	ズイコー 21mm F3.5	92°	7群7枚	自動(6)	16	0.2 m	21cm×14cm	180g	31mm	59mm	○			
	ズイコーMC 24mm F 2	84°	8群10枚	自動(8)	16	0.25 m ○	23cm×15cm	280g	48mm	60mm			○	
	ズイコー 24mm F2.8	84°	7群8枚	自動(6)	16	0.25 m	23cm×15cm	180g	31mm	59mm	○			
広角	ズイコーMC 28mm F 2	75°	8群9枚	自動(8)	16	0.3 m ○	27cm×18cm	250g	43mm	60mm	○			
	ズイコー 28mm F3.5	75°	7群7枚	自動(6)	16	0.3 m	27cm×18cm	180g	31mm	59mm	○			
	ズイコーMC 35mm F 2	63°	7群8枚	自動(6)	16	0.3 m	21cm×14cm	240g	42mm	60mm			○	
	ズイコー 35mm F2.8	63°	6群7枚	自動(6)	16	0.3 m	21cm×14cm	180g	33mm	59mm	○			
	ズイコーシフト 35mm F2.8	63°(最大シフト時83°)	7群8枚	手動(6)	22	0.3 m	21cm×14cm	310g	58mm	68mm	○			
標準	ズイコー 55mm F1.2	43°	6群7枚	自動(8)	16	0.45 m	23cm×15cm	310g	47mm	65mm			○	
	ズイコーMC 50mm F1.4	47°	6群7枚	自動(8)	16	0.45 m	24cm×16cm	230g	39mm	60mm	○			
	ズイコー 50mm F1.8	47°	5群6枚	自動(6)	16	0.45 m	24cm×16cm	170g	31mm	59mm	○			
	ズイコーMCマクロ 50mm F3.5	47°	4群5枚	自動(6)	22	0.23 m ○	72cm×48cm	200g	40mm	60mm	○			
ズーム	ズイコーMCズーム 35-70mm F3.6	64°-34°	8群10枚	自動(8)	22	0.8 m	72cm×48cm(35mm) 37.5cm×25cm(70mm)	420g	74mm	68mm			○	
	ズイコーズーム 75-150mm F 4	32°-16°	11群15枚	自動(8)	22	1.6 m	64cm×42cm(75mm) 32cm×21cm(150mm)	440g	115mm	63mm	○			
	ズイコーMCズーム 85-250mm F 5	29°-10°	11群15枚	自動(8)	32	2 m	66cm×44cm(85mm) 23cm×15cm(250mm)	890g	196mm	70mm			○	
望遠	ズイコーMC 85mm F 2	29°	4群5枚	自動(8)	16	0.85 m ○	29cm×19cm	260g	48mm	60mm	○			
	ズイコー 100mm F2.8	24°	5群5枚	自動(6)	22	1 m	29cm×19cm	230g	48mm	60mm	○			
	ズイコーMC 135mm F2.8	18°	5群5枚	自動(8)	22	1.5 m	32cm×21cm	360g	80mm	61mm			○	
	ズイコー 135mm F3.5	18°	4群5枚	自動(8)	22	1.5 m	32cm×21cm	290g	73mm	60mm	○			
	ズイコーMC 180mm F2.8	14°	5群5枚	自動(8)	32	2 m	32cm×21cm	700g	124mm	80mm			○	
	ズイコーMC 200mm F 4	12°	4群5枚	自動(8)	32	2.5 m	36cm×24cm	510g	127mm	67mm			○	
	ズイコー 200mm F 5	12°	5群6枚	自動(8)	32	2.5 m	36cm×24cm	380g	105mm	62mm	○			
超望遠	ズイコー 300mm F4.5	8°	4群6枚	自動(8)	32	3.5 m	33cm×22cm	1,100g	181mm	80mm			○	
	ズイコーMC 400mm F6.3	6°	5群5枚	自動(8)	32	5 m	36cm×24cm	1,300g	255mm	80mm			○	
	*ズイコーMC 600mm F6.5	4°	4群6枚	自動(8)	32	11 m	55cm×37cm	2,800g	377mm	110mm				○
	*ズイコーMC 1000mm F 11	2.5°	5群5枚	自動(8)	45	30 m	98cm×65cm	4,000g	662mm	110mm				○
特殊	ズイコーMCマクロ 20mm F3.5	高倍率時9°	3群4枚	手動(8)	16		Max. 8mm×5mm Min. 3mm×2mm	70g	20mm	32mm	(21mmかぶせ式)			
	ズイコーMCマクロ 38mm F3.5	高倍率時9°	4群5枚	手動(8)	16		Max. 20mm×13mm Min. 6mm×4mm	90g	28mm	43mm	(32mmかぶせ式)			
	ズイコーMC1:1マクロ 80mm F 4	高倍率時9°	4群6枚	手動(8)	32		Max. 72mm×48mm Min. 18mm×12mm	170g	33mm	59mm	○			
	ズイコーMCマクロ 135mm F4.5	18°	4群5枚	自動(8)	45		72mm×48mm	320g	47mm	60mm			○	

●MCは多層膜コーティングです。OM10で*印のレンズを使いますと画像がケラれます。○印は近距離収差補正機構付です。●ズイコーMCマクロ135mm F4.5は必ずフードをご使用下さい。



保管上の注意と使用上の注意 カメラを長持ちさせるため、次の点にご注意ください。

保管上の注意

- カメラの大敵はホコリと湿気です。カメラをケースからはずし、できるだけ乾燥した空気の流通のよいところに保管してください。とくにタンスの中などは湿気が多いうえ、ナフタリンのガスが発生しますので避けてください。また保管時は、シャッターは必ず切り、切換ダイヤルはOFFにしてください。
- 長時間使用しないときは、電池をカメラから取出してください。次に使用するときには、電池の表面を、乾燥した清潔な布でよく拭いてから入れてください。
- カメラは精密機械です。落したり、衝撃を与えないようにしてください。
- 車の室内やトランクの中など、高温(50℃以上)になる場所に長く放置することは禁もつです。また、極めて低温(-20℃以下)下では作動しないことがありますので、カメラを暖めてから使用してください。とくに急激な温度の変化は、カメラ内部に水滴を生じる危険性がありますので絶対に避けてください。
- 電池は一般に低温になると、電圧が低下します。常温では正しく作動する電池でも、低温では作動しない場合もありますので、寒冷地ではなるべく新しい電池をご用意ください。
- カメラには、わずかなすき間から水滴が入る場合がありますので、雨中(雪中)での撮影や特に海水のシブキにはご注意ください。
- 海岸で撮影したあとは、カメラの表面を柔らかい布でよく拭き、塩分などがついたままにしないでください。
- ラジオ、テレビ、その他強い磁石のそばには、カメラを長く置かないでください。
- カメラの具合が悪い場合は、保証書を添えて、最寄りのオリンパス・サービスステーション、またはお買い求めのカメラ店へお持ちください。

使用上の注意

- レリーズボタンをむやみにポンポンと押すことは避けてください。
- シャッター幕、ミラー、自動絞り機構など、高速で作動する部分に手を触れたり、異物をはさまないでください。
- レンズやミラー、ファインダーなどの光学部分にゴミがついた場合、ブローワーで吹きとばすか、柔かい刷毛で軽く払ってください。
また、レンズに指が触れてしまった場合には、ノリのついていない清潔な木綿布で、すぐに拭いてください。
そのままにしておくと、指紋がとれなくなってしまいます。
- ズイコー交換レンズ、ズイコーMC600mmF6.5、ズイコーMC1000mmF11をお使いになるとき、画像がケラれます。
- 三脚取付け時には、必要以上の力を加えないようにご注意ください。

こんな時は、こうしましょう。

①レリーズボタンが押せない？

①フィルムを完全に巻上げていますか。

②フィルムを入れたのに、いくらフィルムを巻上げても巻戻しノブが回らない？

①フィルムの先が巻取りスプールにうまく差し込まれていないため、フィルムが巻上げられていないからです。もう一度正しく入れ直してください。

②巻上げレバーが動かないのですが、なぜでしょう？

①セルフタイマーの作動中であつたり、シャッターをセットしたままレリーズボタンを押していないのではありませんか。レリーズボタンを押してシャッターを切れば巻上げられます。フィルムはまだありますか。駒数計がフィルムの最終枚数を示していたら、無理に巻上げず巻戻してください。

②巻上げレバーが動かず、ファインダーがうす暗く、像がボケていますが？

①電池が入っていますか、消耗してませんか。バッテリーチェッカーでチェックしてみてください。もし、音と光が出なければ電池がありません。LR44 (A76) アルカリ電池

か、SR44 (G-13) 銀電池2個を交換してください。

③巻戻しクラッチがまわらないのですが？

①巻戻しクラッチを矢印の方向にセットすれば、回ります。

④OM10で赤外写真もとれますか？

①マニュアルアダプターを使い、マニュアルにすればとれます。まず①フィルターなしで普通にピントを合わせ、②その時の距離目盛を赤い赤外線指標までずらし、赤外写真用フィルターをかけて撮影します。

⑤電池のチェックはどんな時すればいいですか？

①①新電池を入れた時。②長時間カメラを放置しておいて新たに使う時。③電池がなくなっている心配がある時。電池の寿命はLR44 (A76) で約半年、SR44 (G-13) で約1年間です。④気温が非常に低い時。

⑥OFFでシャッターを押しましたが写っていますか？

①OFFになって電流は切れていても、シャッターの開いている間だけ電流が流れ、適正露光で写る安全節電設計ですから、適正な写真が撮れています。

⑦オートにしているとき、ファインダー内の表示より実際の

シャッタースピードが遅いのですが、なぜでしょうか？

- ①オートでフィルムまたはフィルム面紙が入ってないとき、表示より遅いシャッタースピードになります。これはOM10の測光方式が直接フィルム面を測るダイレクト測光だからです。そのときは、不用の未現像フィルムかフィルム面紙を入れてください。

②電池はどの種類を買えばよいか？

- ①必ずLR44 (A76) アルカリ電池か、SR44 (G-13) 銀電池2個を購入してください。同じ大きさでも種類の違うもの(水銀電池H-C1.3V、ニッケル電池GN-13型1.6V)は使えません。

③ファインダー中央のスプリットの周辺(マイクロプリズム)に、黒いかげがでてキラキラする？

- ①F5以上の交換レンズを使ったり、標準レンズでもレビューボタンを押したりするとなります。F5.6以上に絞り込むとでてくるもので、マイクロプリズムには関係ありません。

④OM10はマニュアルが使えますか？

- ①OM10は本来AE専用機ですが、マニュアル撮影を駆

使したい方のために、別売りのマニュアルアダプターを用意してあります。ワンタッチでOM10につくので大変便利です。

⑤フラッシュバルブを使いたいんだが？

- ①<フラッシュバルブをお使いになるときは…>

OM10にはFP級閃光電球用のFPターミナルがありませんから、なるべくストロボをご利用ください。もしお使いになるときは、使用する閃光電球に関係なく、シャッター速度は $\frac{1}{5}$ より遅いシャッター速度でお使いください。シャッター速度を $\frac{1}{60}$ より速いところで撮ると閃光電球の光量を有効に利用できないか、照明ムラを生じます。

⑥セルフタイマー作動中に切換えダイヤルをONに戻したら？

- ①シャッターが切れてしまいます。セルフタイマーを使った後は必ず切換えダイヤルを戻してください。

⑦ワインダーを使ったとき、作動中にファインダーの光が消えたが？

- ①OM10は節電設計になっているため、ONのままでも90秒たつと光が自動的に消えます。このときには、リリースボタン座にかるく指をふれましょう。

おもな仕様

型 式	電子制御式35ミリ一眼レフカメラ	ファインダー	ペンタプリズム式広視野ファインダー
画面サイズ	24×36ミリ	フォーカシングスクリーン	マイクロ/スプリットマット式
レンズ交換	オリンパスOMマウント、バヨネット交換式 ズイコー交換レンズ群装着可	ファインダー視野率	実画面に対し93%
シャッター	電子制御式フォーカルプレーンシャッター 高速側制限装置付	ファインダー倍率	50ミリ標準レンズ付きで∞時0.92倍
シンクロ接点	X接点、ダイレクト接点のみ	ファインダー内表示	シャッタースピード/LEDによる12段階表示(オーバー警告付)。ストロボチャージ完了および適正発光可否LED表示
自動露出制御	型式/絞り優先自動露出制御電子シャッター 測光方式/TTLダイレクト測光 測光範囲/2秒~ $\frac{1}{1000}$ 秒(EV. -0.5~18) (ASA100、F1.2、常温常湿) 露出補正/±2EV ストロボ自動露出/普通オートストロボT20 と組合わせたとき、ストロボ秒時(約 $\frac{1}{60}$ 秒) に自動切換	ミ ラ ー	大型クイックリターンミラー
マニュアル撮影	マニュアルアダプター装着によりマニュアル撮影可1~ $\frac{1}{1000}$ までの11段切換え モードレバーMANUAL ADAPTERの位置で $\frac{1}{60}$ のマニュアル撮影可	フィルム巻上げ	レバー式、小刻み巻上げ可能。巻上角130°。予備引出角30°。ワインダーによる巻上げ可能(巻上げ速度0.3秒)
フィルム感度	ASA25~1600	セルフタイマー	電子式セルフタイマー約12秒
電 源	1.5VLR44(A76)アルカリ電池かSR44(G-13)銀電池2個使用	バッテリーチェック	LED. PCVによる2モードチェッカー 限界電圧ミラーロック付
		アクセサリシュー	固定式。ダイレクト接点付
		大きさ・重量	
			ボディのみ 135(巾)×84(高さ)×50mm(厚さ) 450g(電池別)
			F1.2付/135(巾)×84(高さ)×97mm(厚さ) 760g(電池別)
			F1.4付/135(巾)×84(高さ)×89mm(厚さ) 680g(電池別)
			F1.8付/135(巾)×84(高さ)×81mm(厚さ) 620g(電池別)

※仕様は、予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。



保証書、アフターサービスについて。

保証書の発行について

1. このカメラの保証書は、お買上げのカメラ化粧箱に入っております「保証書引換えカード(はがき)」に所定事項をご記入のうえ、当社にご返送頂き、それと引換えにお客様に郵送する発行方式になっております。これにより、お客様のお名前、カメラの機種名、ボディ番号等は当社のコンピューターに完全登録されます。
2. 保証書発行が遅れますと、万一故障の場合、お客様にご迷惑がかかる場合があります。当社ではアフターサービスの万全を期したいと考えておりますので、ぜひお買上げの時点で保証書引換えカードをご返送頂くよう、ご協力をお願い致します。
3. 保証書の発行手続きには「保証書引換えカード」到着後多少の日数を要しますのであらかじめご了承ください。
なおお客様へお送りする保証書の内容は右記(見本)のようになっておりますので、よくお読みください。

アフターサービスについて

1. 本製品のご不明の点、万一故障の場合はお買上げの販売店、または裏表紙の当社サービスステーションに依頼してください。
2. 使用説明書等に仕上がったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買上げ日より満一年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理致します。
3. 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。また運賃諸掛りはお客様においてご負担願います。
4. 当カメラ及びOMシステム交換レンズの補修用性能部品は、製造打ち切り後10年間を目安に当社では保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間後であっても修理可能な場合がありますので、お買上げの販売店または、お近くの当社サービスステーションにお問い合わせください。

本保証書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買上げの日から、満一年間、万一故障が発生した場合は、本保証書を添付ご持参の上お買上げの販売店、または当社サービスステーションにご依頼下さい。

【保証規定】

1. この保証書は、使用説明書、取扱上の注意事項等に仕上がったお取扱いにより本製品が万一故障した場合は、お買上げ日から満一年間無料修理をいたしますので、お買上げの販売店または使用説明書記載の当社サービスステーションに、本商品に本書を添付ご持参の上修理をご依頼下さい。
 2. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって(問屋便以外を使用した場合)、一部ご負担いただく場合があります。
 3. 保証期間内でも次のような場合には、有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り(使用説明書、取扱上の注意事項等以外の誤操作など)により生じた故障。
(ロ) 当社サービスステーション、および当社が認定する修理店以外で行われた修理・改造・分解掃除等による故障。
(ハ) お買上げ後の輸送・落下・衝撃等による故障および損傷。
(ニ) 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障損傷。
(ホ) 保管上の不備(高温、多湿の場所、ナフタリン等の防虫剤や有害薬品のある場所での保管等)や手入れの不備等による故障。
(ヘ) 電池等の消耗に起因する故障。
(ト) 本保証書の添付のない場合。
(チ) お買上げ年月日、お客様名、販売店名、商品No等の記載事項を訂正された場合。
 4. 保証の対象となる部分は本体のみで、ケース・ストラップ・キャップ等の付属品類、消耗品類(電池類)は保証の対象となりません。
 5. 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償いたしかねます。
- ご注意 1. 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 本保証書の表示について、ご不明の点は使用説明書に記載されている当社サービスステーションにお問合せ下さい。

【保証書取扱上の注意】

1. 本保証書をお受け取りの際は、販売店名およびお買上げ年月日等が記入されているかどうかをご確認下さい。もし記入もれがあった場合は、たゞちにお買上げの販売店へお申し出下さい。
2. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)

【アフターサービスについて】

1. 修理完了品には、当社より修理伝票が発行されますので、修理品をお受取りの際ご確認ください。
2. 部品の保有期間等アフターサービスに関する事項については、使用説明書に詳しく記載されておりますのでご覧ください。
3. 保証期間経過後の修理等についてのお問合せは、使用説明書(交換レンズはカメラ本体の使用説明書)に記載されているお近くの当社サービスステーションをご利用下さい。

オリンパスカメラクラブとは、オリンパスカメラのご愛用者によって組織され、会員相互の親睦をはかり、あわせて写真の知識や技術の向上をはかることを目的とし、発足以来、北は北海道から南は沖縄まで全国に多数の会員がいる写真サークルです。

●カメラクラブ会員になりますと

1. 豪華で美しい「オリンパスフォトグラフィ」誌が毎月購読できます。
2. 優秀写真家作品の鑑賞、技術指導および解説、新製品の紹介をします。
3. 月例写真を毎月募集し一流写真家によって選評します。
4. あなたの写真作品やたよりをフォトグラフィ誌上に掲載します。
5. 不定期に盛大なオリンパス写真コンテストをおこないます。
6. 作品の通信指導制度をご利用になれます。
7. ご入会記念にご希望のオリンパス製品にかえられる得点券100点が当たる抽選券をさしあげます。

8. 各種写真教室や撮影会をおこないますが、それに参加することができます。

●カメラクラブの催物

カメラクラブは会員の方のために、各種催物を開催いたします。プロ写真家が同行指導する海外撮影旅行は、ヨーロッパ、ハワイ、東南アジアで実施され、国内においても全国各地で写真教室が開催されております。



クラブ主催による海外撮影旅行での記念スナップ。
(フィリピンのマニラにて)

●カメラクラブに入会するには

入会金(申込金) 600円
会費(購読料) 2,400円
計 3,000円

上記の会費をお払込みください。入会さ

れた方には、会員証と得点券100点が当たる抽選券をお送りいたします。

●カメラクラブの所在地

〒160 東京都新宿区新宿5-17-9
新宿野村證券ビル9F
電話 東京 (209)4305
オリンパスカメラクラブ事務局



ズイコー交換レンズについて、詳しくお知りになりたい方は、ズイコー交換レンズグループ読本(84頁)を下記宛に、200円同封の上ご請求ください。

〒160・東京都新宿区西新宿1の22の2
新宿サンエービル
オリンパス宣伝部 読本係

OLYMPUS®

オリンパス光学工業株式会社
東京都新宿区西新宿1の22の2 新宿サンエービル

■海外にお出かけの方に

方一旅行の途中で、カメラに事故が発生した場合は、各国にサービス・ステーションがありますからお尋ねください。リストは、各サービス・ステーションにご請求いただければ、お送りいたします。

■当使用説明書の仕様・内容については予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

国内オリンパス・サービス・ステーション所在地

東京	160. 東京都新宿区新宿5の17の9 野村証券ビル9F
	101. 東京都千代田区神田駿河台3の4 龍名館ビル
	160. 東京都新宿区西新宿1の22の2 新宿サンエービル
名古屋	460. 名古屋市中区錦3の23の31 栄町ビル
大阪	542. 大阪市南区塩町通り3の45
福岡	810. 福岡市中央区天神1の14の1 日本生命ビル
札幌	060. 札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命ビル
広島	730. 広島市中区八丁堀16の11 日本生命第2ビル
仙台	980. 仙台市中央1の2の3 駅前第1ビル
金沢	920. 金沢市尾山町3の25 住友生命金沢ビル
横浜	220. 横浜市西区北幸1の7の2 横浜駅西口ビル
新潟	950. 新潟市東大通り1の4の1 マルタケビル
静岡	420. 静岡市追手町1の6 日本生命ビル
高松	760. 高松市天神前10の5 高松セントラルスカイビル
大宮	330. 大宮市土手町3の19 川村第5ビル
沖縄	902. 那覇市大道66 泉ビル
京都	604. 京都市中京区柳馬場通り御池下ル柳八幡町65 京都朝日ビル
岡山	700. 岡山市下石井1の1の3 日本生命岡山第2ビル
千葉	280. 千葉市中央4の8の1 千葉フコク生命ビル
鹿児島	892. 鹿児島市新屋敷町16の21 鹿児島県住宅供給公社ビル214号

海外オリンパス・サービス・ステーション所在地

U.S.A. OLYMPUS CAMERA CORPORATION Crossways Park, Woodbury, New York, 11797
GERMANY OLYMPUS OPTICAL CO. (EUROPA) GmbH, Steindamm 105, 2 Humburg

※日曜・祭日および土曜日は原則として休みます。
但しフォトプラザのみ水曜日定休で、土・日曜日祭日も営業しております。

オリンパス・フォトプラザ内	☎(209) 4821
オリンパス・ショールーム内	☎(251) 9826
オリンパス光学工業(株)本社内	☎(340) 2071
オリンパス商事(株)名古屋支店内	☎(961) 0531
オリンパス大阪センター内	☎(252) 6981
オリンパス商事(株)福岡支店内	☎(761) 4466
オリンパス商事(株)札幌支店内	☎(231) 2320
オリンパス商事(株)広島支店内	☎(28) 3821
オリンパス商事(株)仙台支店内	☎(25) 6821
オリンパス商事(株)金沢営業所内	☎(62) 8297
オリンパス商事(株)横浜営業所内	☎(311) 2071
オリンパス商事(株)新潟営業所内	☎(45) 7333
オリンパス商事(株)静岡営業所内	☎(53) 2133
オリンパス商事(株)高松営業所内	☎(34) 6106
オリンパス商事(株)大宮営業所内	☎(44) 0341
沖縄オリンパス(株)	☎(84) 3030
オリンパス商事(株)京都営業所内	☎(25) 2315
オリンパス商事(株)岡山営業所内	☎(31) 3246
オリンパス商事(株)千葉営業所内	☎(25) 2456
オリンパス商事(株)鹿児島営業所	☎(25) 1105